

病床機能転換等に係る補助制度の見直し (検討案)

1 補助率等の引上げ

- 施設改修を行う場合の補助基準額の引上げ
(3,333 千円/床 → 3,624 千円/床)
- 補助率の改定 (全補助メニュー共通)
 - 【改定前】 2 分の 1
 - 【改定後】 原則は「2 分の 1 の範囲内において知事が定める率」
特例として、2019 (平成 31) 年度～2024 年度は以下の率に固定

2019 年度～2020 年度	4 分の 3
2021 年度～2022 年度	3 分の 2
2023 年度～2024 年度	2 分の 1

2 既存の補助メニューに係る要件見直し

- 要件の緩和 その 1 (急性期から回復期への病床機能転換に係る事業)
 - ・「急性期から回復期への転換」の他、「既存の回復期機能の強化」についても補助対象に
 - ・事業実施後に算定すべき入院料の範囲の拡大
 - 【改定前】「地域包括ケア病棟入院料」又は「回復期リハビリテーション病棟入院料」に限定
 - 【改定後】上記に加え、一定の条件のもと「地域一般入院基本料」も対象に
- 要件の緩和 その 2 (病床廃止を伴う施設転換に係る事業)
 - ・「15 床以上を一度に廃止する場合」との要件を撤廃
 - ・転換後における施設の用途について、範囲を拡大
 - 【改定前】「通所介護施設」「通所リハビリテーション施設」「災害備蓄倉庫」に限定
 - 【改定後】「県保健医療計画に基づく医療提供体制構築のために使用する施設」であれば可

3 新たな補助メニューの追加

- 新たに以下の経費の一部を補助
 - ・病床廃止に伴う施設・設備の処分に係る費用
 - ・病床廃止等に伴う早期退職者に係る退職金 (割増分)
 - ・医療機関における再編等計画の策定に係る委託料

「病床機能の現状等についてのアンケート」結果

1 現在の補助金額（補助基準額・補助率）についての意見

回答総数 133 （病院75、有床診療所58）

- ・低いと思われる 17
- ・適当と思われる 17
- ・高いと思われる 0
- ・特に意見はない・わからない ... 96
- ・その他（※） 3

（※）活用できる補助メニューがないため判断できない 等

2 補助制度に関する意見・要望

- 類型ごとの主な意見・要望は以下のとおり。

意見総数 22 （病院14、有床診療所8）

補助制度に関する意見・要望をおおまかに分類すれば、下記A～Dの類型のとおり。

- A 補助制度のあり方についての意見 ... 9
 - ・病床機能転換を早期に行う者に特典のある制度にしてはどうか。
 - ・病床機能転換が早い者勝ちになるのは疑問。
 - ・「病床機能の転換（急性期→回復期）」を補助要件とすることについて疑義あり。
 - ・医療機関のランニングコストに対しても、補助金を活用できるようにしてほしい。
 - ・病床の廃止に対する補助制度の充実を。
- B 補助要件の緩和に関する要望 5
 - ・病床廃止に係る補助制度について、「15床以上を一度に廃止」との要件が厳しい。
- C 補助率等の嵩上げに関する要望 2
 - ・補助率を2分の1から引き上げてほしい。
 - ・補助基準額について、一定期間の嵩上げを。
- D その他の意見・要望 6
 - ・病床機能転換に関し、自治体はもっと医療機関に向き合ってほしい。
 - ・他の補助制度に係る要望（医療機関の災害対策に対する補助制度の充実 等）